

東北地方および三宅島で観測された2004年11月14日浅間山噴火の空振*

Asamayama eruption on November 14, 2004:
Air shock observed in Tohoku region and Miyakejima

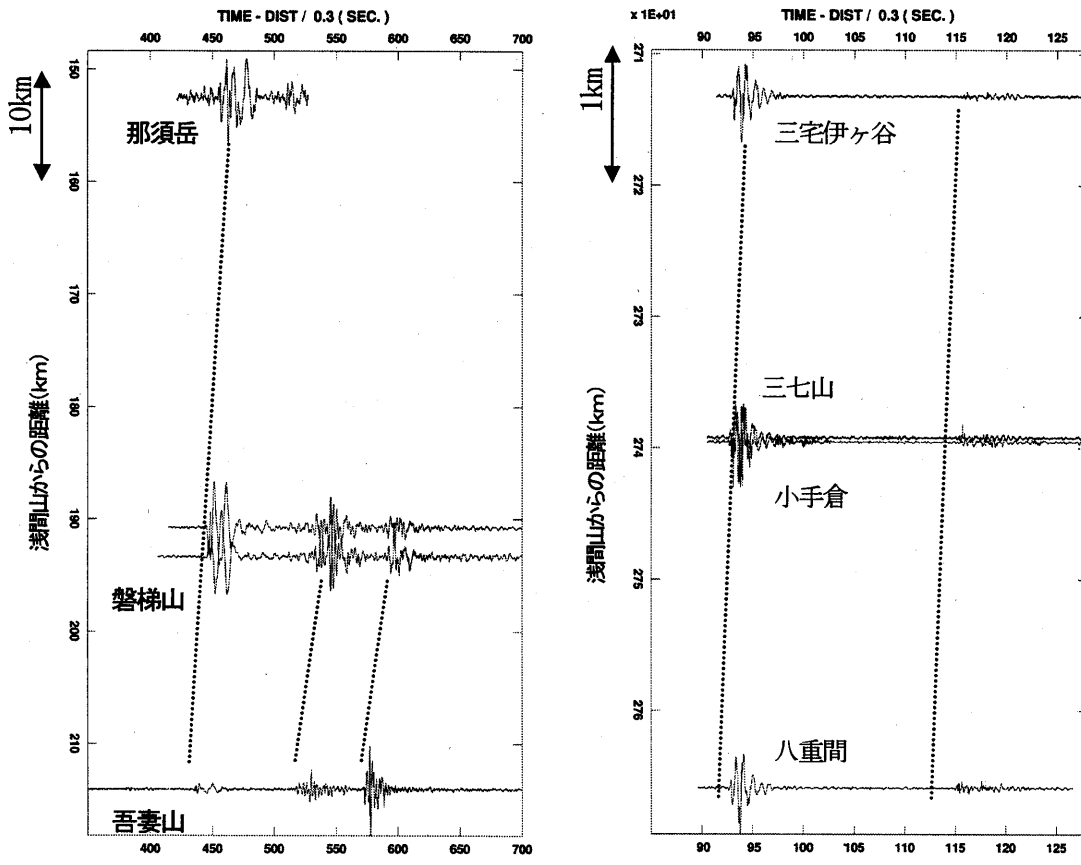
気象庁地震火山部火山課
Volcanological Division, JMA

2004年9月1日および23日の噴火と同様に、11月14日20時59分の浅間山の爆発的噴火に伴う空振相が東北地方および三宅島で記録された(第1図)。

東北地方では明瞭な空振相が少なくとも3相確認できた。また、三宅島では2相の明瞭な空振相が確認できた。一方、浅間山近傍の観測点(浅間山山麓・草津白根山・那須岳)では1相しか観測されなかった。

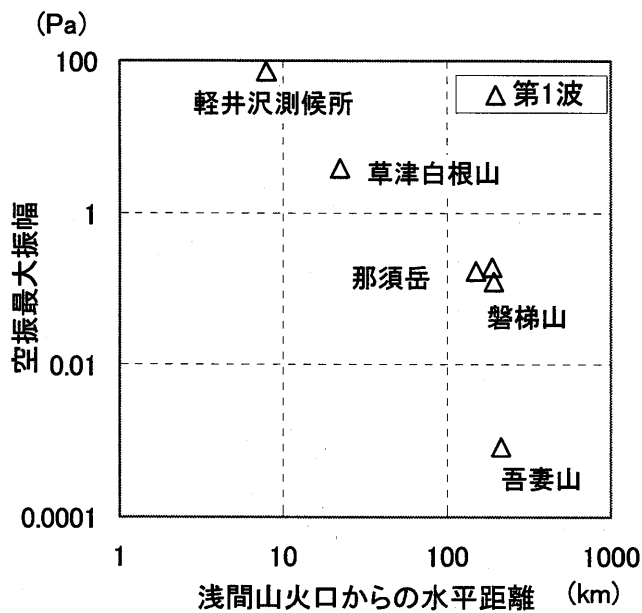
爆発に伴う空振波の最大振幅と浅間山からの水平距離の分布を第2図に示す。第1波は、9月の噴火と同様に、浅間山から離れるほど最大振幅は小さくなる。第2波および第3波の最大振幅と浅間山山頂からの距離の相関については、相が確認された観測点が少ないため不明である。

* Received 27 April, 2005



第1図 11月14日20時59分の爆発に伴う空振記象のペーストアップ (左: 東北方面、右: 三宅島島内)
 横軸 (秒) は0.3km/sでreduceしている。また、各波形に対して最大振幅で規格化している。

Fig. 1 Record sections of air shock waveforms on November 14, 2004. Left: Tohoku region. Right: Miyakejima.



第2図 2004年11月14日爆発に伴う空振波 (第1波) の最大振幅と浅間山からの水平距離の分布

Fig. 2 Relationship between maximum amplitude of the first air shock and distance from Asamayama.